

千葉市美術館「木版画の神様 平塚運一展」を開催します
～木版画のレジェンド待望の回顧展、千葉市美術館単独開催～

千葉市美術館では、企画展「木版画の神様 ひらつかうんいち 平塚運一展」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

また、開催にあたり、7月17日（火）15：00から記者の皆さまへの披露説明会を実施しますので、併せてお知らせします。

1 企画展「木版画の神様 平塚運一展」について

(1) 会期

平成30年7月14日（土）～9月9日（日）※休館日 8月6日（月）、9月3日（月）

(2) 会場

千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

(3) 主催

千葉市美術館

(4) ポイント

ア 首都圏では18年ぶりの大回顧展

最初期の版画雑誌掲載作品から、100歳を超えて制作した最晩年の作品まで、80年におよぶ版業を約300点の作品で振り返ります。個展は2000年に東京ステーションギャラリーで開催されて以来18年ぶりとなり、出品作品数も本展が最も多くなります。近代版画を多く所蔵し、1997年から5回に及ぶシリーズ展「日本の版画」を開催、川瀬巴水、吉田博といった版画家を世に送り出してきた千葉市美術館ならではの展覧会となります。

イ 洋の東西をむすんだ版画家

日本各地の風景を版画にしてきた平塚は国内にとどまらず、仏教版画への興味から朝鮮、中国へも度々訪れています。また67歳にしてアメリカへ渡って30年間制作を続け、同地でも展覧会や講習会を開催するなど国際的に活躍しました。

(5) 観覧料

一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料。

※（ ）内は前売券、団体20人以上の方、市内在住65歳以上の方の料金。

※前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン（セブンチケット）、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて7月13日（金）まで販売。

2 「木版画の神様 平塚運一展」披露説明会について

(1) 日時

7月17日（火）15：00から

(2) 場所

千葉市美術館 10階会議室

(3) 内容

展示作品をご覧いただき、主な展示作品の見所などを担当学芸員からご説明いたします。

3 同時開催イベント等

(1) わくわく親子デー

昨年度、初めて開催し好評だったイベントを今年も開催します。小さなお子さん連れの方や小学生が親子で楽しめます。

ア 日時

7月30日(月) 10:00~18:00

イ 場所

千葉市美術館 8、7階展示室

ウ イベント内容

おしゃべりギャラリートัวร์、工作&鑑賞ワークショップなど

(2) 所蔵作品展「旅—ちょっとそこまで、遠くまで」

千葉市美術館の所蔵作品から夏休みにぴったりの作品を紹介する他、千葉県出身・在住の現代美術家ユニットによる作品を展示、「山の日」にちなんだワークショップを開催します。

<会期>

平成30年7月14日(土)~9月9日(日) ※休館日 8月6日(月)、9月3日(月)

※その他、展覧会に関連し、ワークショップや毎年恒例の縁日、中学生向けのギャラリークルーズなど夏休みにふさわしい様々なイベントを開催します。詳しくは別添チラシを参照。

4 問い合わせ先

千葉市美術館 ^{にしやま}西山(担当学芸員)、^{いその}磯野(広報担当)

〒260-8733 中央区中央3-10-8

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail isono@ccma-net.jp